

船と港のおかじげ

日本船新聞

新聞



小梅小学校
6年1組
高島朱莉

船は、とってもいいことがたくさんあります。
 ○たくさん物が運べます。
 ○たくさん人が運べます。
 ○たくさん人がたつて運べます。

いいこと
 ○食料やガスなどがたくさん運べる。
 ○また、たくさん運べる。
 ○CO2など、少ないです。
 ○しかし、悪いこともあります。

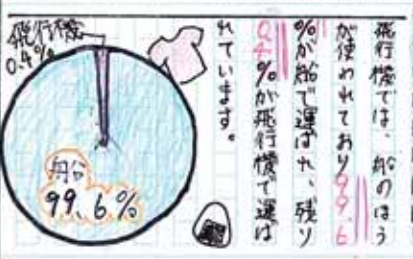
と
 ○時間がかかる。
 ○海の波が荒いときは、船がたふさぐ。
 ○新鮮なものは運べない。

なぜ
 ○悪いこともありますが、荷物をたくさん運ぶには、船のほうが適しています。

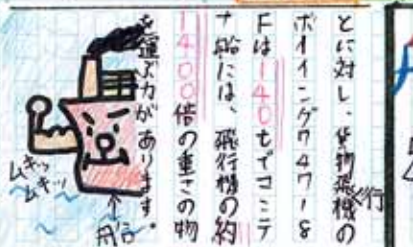
理由
 ○このよつぱな理由、船は、物がたくさん運べ、エネルギーも少なく、CO2の排出量も少なく、運ぶことができます。



私たちの生活は、船と港のおかげで成り立っています。船、港のおかげで私たちの生活は、どうなっているのでしょうか。
私たちがの生活と船・港の関係
 日本は、周りが海に囲まれているため、他の国と貿易をするには、船や飛行機が必要です。しかも日本の食料自給率は、33%と半分以下も輸入にたよっているのがおみえです。



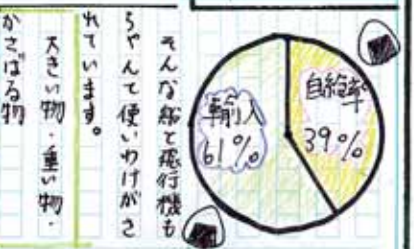
飛行機
 ○小さい物、急いで運ぶとき、飛行機は、いいです。
 ○しかし、飛行機は、重い物もたくさん運ぶことができません。
 ○大型コンテナ船が、物を200万トン運べます。



とに対し、貨物飛行機のボーイング747やF150は、飛行機の約400倍の重さの物を運ぶことができます。

日本から輸出する時も、船を使おう。4人まんが、船は、貨物をたくさん運べる。船は、いいです。

飛行機では、船のほうが、使われており、6%が船で運ばれ、残り94%が飛行機で運ばれています。



船と港がなくなったら?

船に代えられて、日本は、船や港がなくなったらどうなるか。まっついで、入か。
 原油 97%
 小麦 99%
 綿花 100%
 羊毛 100%
 木材 66%

輸入
 ○生活がとまらなくなってしまう。
 ○衣服が作れなくなり、洋服がなくなったり、パソコン、家まで作れなくなってしまうのです。
 ○こうなる、私たちが生活がとまらなくなってしまう。

物がよて船がちがう

形や大きさがちがう貨物や、コンテナとい



コンテナ船

2、コンテナ船
主にサウジアラビア
ペトラブス石油産地
から輸入しています。

石油のもことになる貨物も運ぶ船です。主にサウジアラビアペトラブス石油産地から輸入しています。



タンカー

1、油タンカー
船は船でも、いろいろな種類があります。船は、運ぶものの種類によつて変わります。

コンテナ船で運ぶコンテナの数は、TEUと



球のよう形状のタンクに、LNG(液化天然ガス)を入れて運ぶ船です。LNGは、火力発電などに使われるものでオーストラリアやカタールから輸入しています。球のよう形状の中は、マイナス162度で冷やされています。

球のよう形状のタンクに、LNG(液化天然ガス)を入れて運ぶ船です。LNGは、火力発電などに使われるものでオーストラリアやカタールから輸入しています。球のよう形状の中は、マイナス162度で冷やされています。



LNG船

3、LNG船

箱に入れて運ぶ船です。大きなコンテナ船なら4000個、コンテナが2000個、積みあがると高さ10メートルあります。

日本の車は、外国で人気が高く、この自動車船でたくさん輸出されています。



自動車専用船

5、自動車船

小まめに、約1000台、鉄鉱石などを積みこんで運ぶ船です。



ばら積み船

4、ばら積み船

中がホテルのようになっていて、長期のクルーズができます。



クルーズ船

7、RORO船

貨物を積んだトラックが船に直接出入りすることができます。



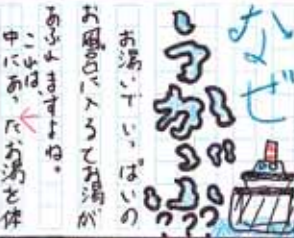
RORO船

6、RORO船
中は、10階以上に分かれていて前後のまこの間が30m、左右は5mくらいしかありません。



船がうくのもこの力のおかげです。タンカーや客船などは、外側が空っぽになつていてたくさん水をおしのけられるようにしています。

お湯、水、油、はいいのお風呂に入るとお湯があふきますよ。中には、お湯を体がおしのけたから、水の中にある物は必ずおさがしのりまよ。そしてこの時に、水の中にある物は、おしのけた水の中をこぼれかかれます。



大きな船

空気がながたリカラフルになりすぎたり失敗したところもありました。作り終えることが出来た。

私がこの船、港に回する新聞で工夫したことは、図やまてめ方です。文章をすらすらと書くのは、図やまてめ方です。文章をすらすらと書くのは、図やまてめ方です。

大きな船は、たくさん水をあしのけるから、うく力も大きいです。

このようにして荷物をたくさんおしのけておしのける水の力をまよより、重くならないように、ういていられるのです。

後記